

しゅん か しゅう とう
春 夏 秋 冬

《岁时》白露与重阳节

“白露”是二十四节气之一，当太阳黄经到达165度时为“白露”节气。2004年的“白露”是九月七日。

所谓“白露”既“秋意渐浓，露珠始出之时”的意思。从这时起，早晚气温渐凉，而且草木上可以见到点点滴滴的白色露珠。这个季节也是台风到来的季节。

“重阳节”是从中国传入的、五个民间节日中的一个。每年的九月九日便是重阳节。农历九月九日正值菊花盛开，所以又叫“菊花节”。

在阴阳五行的思想当中，奇数是阳数，而阳数之极为九，二九相重称之为“重阳”，是个值得庆贺的吉利日子。

直到明治时代，人们在重阳节时，为辟邪祛秽、祈愿长寿而举行佩带菊花、相互宴饮等盛大的庆祝活动。可是，现在重阳节却和其他的几个节日不一样，几乎没有什么活动了。

何谓五个节日（五节供）？

“节句”（=“节日”），以前写作“节供”，在江户时代正式指定了五个节日。

这五个节日分别是：“人日”（一月七日。别名“七草节”），“上巳”（三月三日。别名“桃花节”、“偶人节”），“端午节”（五月五日。别名菖蒲节），“七夕”（七月七日。别名为“竹叶节”、“乞巧日”、“牛郎织女”），“重阳节”（九月九日。别名“菊花节”）。



《歳時》白露と重陽の節句

「白露」は、二十四節気の一つで、太陽の黄経が165度に達した時をいいます。2004年の「白露」は9月7日となります。

「白露」とは、「秋気が加わり、露が出来始める頃」という意味です。この頃から、朝夕が涼しくなり、草木の葉に白い露の宿っているのが見られるようになります。また、台風のシーズンの訪れとなります。

「重陽の節句」は、中国から伝わった五節句の一つで、毎年9月9日に行われます。9月9日は、旧暦では菊が咲く季節であることから「菊の節句」とも呼ばれています。

陰陽思想では奇数は陽の数であり、陽数の極である9が重なる日であることから「重陽」と呼ばれ、大変めでたい日とされました。

明治時代頃までは、邪気を払い長寿を願って、菊の花を飾ったり、酒を酌み交わして盛んに祝っていましたが、現在では、他の節句とは違い、ほとんど行われていません。

五節句（五節供）とは？

「節句」は、元々は「節供」と書き、江戸時代に「五節供」が公式に定められました。

「五節供」とは、「人日」（1月7日。別名「七草の節句」）、「上巳」（3月3日。別名「桃の節句」）、「雛祭り」）、「端午」（5月5日。別名「菖蒲の節句」）、「七夕」（7月7日。別名「笹の節句」）、「たなばた」）、「重陽」（9月9日。別名「菊の節句」）の五つをいいます。